

社会教育指導員の部屋

2022.6月

生涯学習課 社会教育指導員 伴野 洋子

戦国時代の烽火台（のろしだい）と「写し霊場」！

野沢公民館では、5月27日（金）に「ふるさとウォッチング」講座として「佐久歴史の道 案内人の会」を講師に迎え虚空蔵山（こくぞうさん）をめぐる予定でしたが、あいにくの雨模様！残念ですが座学での開催となりました。



佐久市根岸にある虚空蔵山（標高 773.6m）は蓼科山から北東に伸びる長い尾根の先端であり、山頂の展望台からは佐久平を眼下に西にアルプス、北に浅間連峰、東に荒船山などを一望できます。

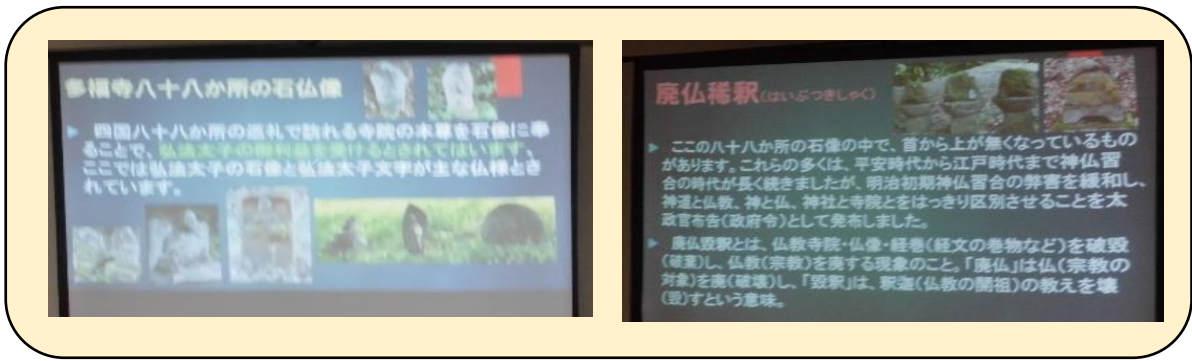
実際歩いているようなアングルのスライド写真を見ながら、ヘルシーテラス佐久南（スタート地点）から多福寺（登山開始地点）、そして山頂まで歴史や自然について触れながら講師のお話を聞きました。

写し霊場とは・・・

四国巡礼を容易に行うことができない人々のために、霊場を象った石像などを一箇所に集め、その場ですべての霊場を巡れるように整えられた場のことです。虚空蔵山「写し霊場」は多福寺住職が1846年に四国八十八か所の砂を持ち帰り作られました。

虚空蔵山は特徴として、四国八十八ヶ所霊場の「写し霊場」となっています。山の斜面に置かれた石仏群は計八十八体あり、一体一体がミニ霊場を構成しているということです。これらの内訳は石像が67体、文字碑が20基、梵字碑1基です。170年を経過し石仏の損傷（特に明治初期の廃仏毀釈などにより頭部が損失の石像多

い）は目立ちますが、「虚空蔵山自然のみち管理委員会」をはじめ岸野地区の役員・有志各位・小学生の皆さんが日ごろから整備してくださっていて、登りやすくなっています。



また、武田信玄が佐久地方に侵攻した際、武田方の家臣が虚空蔵山の前を通るとな
 ぜか落馬するという事故が続いたため、山頂に祀られていた虚空蔵菩薩像を麓の多
 福寺に遷座し頂上は烽火台としたという言い伝えもあります。虚空蔵山は、四季を通
 じて多くの花々を観ることもできます。

山道にひっそりと置かれた石仏や花を探しながら山頂を目指し、山頂で360度
 山々の雄大な姿を眺められ、一年を通して楽しめる場所だと思いました。皆さんぜひ
 虚空蔵山を訪れて、身近な自然や歴史に触れてみませんか！



※四月の終わりに下見に行きました。私にとっては、数年ぶりの山歩き（と言って
 よいのか？散歩コースとおっしゃる方もいました）でしたが、道は整備されていて歩
 きやすく、多くの石仏を見ながら新緑も目に心地よく、また山頂からの眺めも素晴ら
 しいものでした。※